

光学天文連絡会会報 No. 8

1981年9月22日

光学天文連絡会事務局(款理)発行

Group of Optical and Infrared Astronomers

(GOPIRA)

第7回 光学天文連絡会運営委員会記録

石田 憲一

- ・日時 昭和56年9月7日 13時 - 17時
- ・場所 東大理学部 天文学教室
- ・出席 小暮智一、寿岳潤、清水実、石田憲一、
奥田治之、兼古昇、佐藤修二、
山下泰正、小平桂一、冨田弘一郎、
冢正則、田村真一、古在由秀、
斉藤衛

経過報告

1. 前回 運営委の委託により、8月8日行なわれた国内望遠鏡製作成会(奥田、磯部、田村、冢、小平、石田、中井、清水)において得られた結論が紹介された。(奥田他)
2. IAUの第2回アジア太平洋地域会議の会期中に行なわれた同地域内における天文台建設計画の情報交換会等の話題が紹介された。(小暮他)
※これについてはP5(小暮)に記事があります。

議事

1. 前記の国内望遠鏡製作成会の結論について質疑応答の後、当面3m経緯台望遠鏡について具体的計画案を検討することとした。
2. このことを10月13日17時~18時、京大会館において総会を開催して運営委から報告する。
3. 11月初旬に、光天連シンポジウムを開催して将来計画の具体化をはかる。世話人は斉藤衛、磯部瑋三、冢正則、石田憲一。

。結論

光学・赤外天文学の観測設備として、当面、国内3m経緯台望遠鏡の建設計画を推進する。については、学問的要請、技術的問題、コスト、製造期間について検討をする。

これと併行して、各種観測技術の開発的研究を進め、観測機器を製作、それをもって海外の天文台へ応募し、さらに、海外の適地に大型望遠鏡を設置する可能性を積極的に追求することとする。

光天連シンポジウム 回報 No.1

1981-09-10

光天連運営委(第7回, 1981-09-07)で、光学・赤外の観測天文学の将来計画の大筋として、1)国内望遠鏡の建設、2)機器開発、3)国外設置を決めて、11月のシンポジウムに向けて、3m経緯台望遠鏡の設計案の検討を進めることにした。

そこで、この計画の具体化のために、今後数年から10数年に渡る観測計画を持ち寄り、検討したい。観測計画に必要な望遠鏡、観測装置、所要時間などの具体的提案が含まれているといい。

記

- ・日時 1981年11月9日(月)10日(火)11日(水)
- ・場所 国立科学博物館講堂(上野)
- ・連絡先 〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部宇宙物理学教室
齊藤 衛
- ・世話人 齊藤 衛、磯部 秀三、冢正則、
石田 恵一

仙台シンポジウム

9月30日に、世話人会をする予定です。
それまでに、シンポジウムの内容等について、お考えを
世話人まで、お寄せください。それから多数の
観測計画提案を、お寄せくださるようお願い
いたします。

シンポジウム準備日程の目安は、

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 観測計画案の受け付* | 10月9日まで |
| 2. レビューの依頼 | 年会会期中 |
| 3. プログラム発送 | 10月下旬 |
| 4. シンポジウム | 11月9、10、11日 |
| 5. 集録原稿メット | 11月14日 |

と、なると思います。費用は、小暮総研に
おねがいする予定です。

* 提案用紙は、この会報に添付してあります。

アジア地域での望遠鏡将来計画

IAU 第2回アジア太平洋地域集会における討論

小暮智一

1. Regional Meeting 概要

表記研究集会は、1981年8月24日～29日の
1週間、インドネシアのバントゥン市においてバントゥン
工科大学(ITB)を開場として開かれた。
参加国および参加者数(カッコ内)は、ほぼ次
のとおりである。

日本(18) インドネシア(14) 豪(10)
インド(8) USA(7) オランダ、UK(各4)
チリ(3) ニュージーランド、シンガポール、韓国、
台湾(各2) カナダ、スイス、リビア、イラク
タイ、マレーシア、フィリピン(各1)

集会は、Scientific Session, Astronomical Education
Session, Informal meeting および他の行事
に分けられ、アジア地域での望遠鏡将来計画は、
Informal meeting で1回討論されたほか、
Scientific Organizing Committee でも若干討議
された。

2. Informal meeting での討論

初日(8月24日)の夜 Building Telescope という
informal meeting が開かれ、3～40人集まり、
アジア地域での諸計画が討議された。

。Itaq

Dr. Hamid M. Al-Naimiy がイラクで進行中

の計画を説明し、他の国々からの支援と協力を要請した。計画の概要は、

3.5m 反射 (ツァイス製、スペインのカラアルトと同型)

1m 反射 (ツァイス製、赤外用)

ミリ波・電波望遠鏡 (30mφ)

観測所は、バグダットの北方 400km、海拔 2100m の山地で、観測可能日は、200日、現在、光学望遠鏡は、ツァイスに発注済みで、1986年に完成予定とのこと。イラクには、現在、天文学者は3名しかいないので、早急に研究者、技術者の養成をはかり、また国際的協力の下に観測をすすめたいということであった。

台湾

Dr. Chun-Shan, Shen が台湾の 4000m の高山に Asian Astronomical Observatory を国際協力の下に建設してはどうかという提案を行った。すでに望遠鏡については、特に具体的な構想をもっているようではなかった。

日本

石田(恵)と磯部両氏が、光天連での討議の様子を説明し、海外大型を目標に、国内に早急に大型望遠鏡建設を検討中という報告を行った。小暮は補助的に海外中口径の可能性を追求中と述べ、北村氏は、韓国との交流の重要性を指摘した。

韓国

韓国国立天文台、李相珪 (Lee Sang yak) さんが、米国の Boller-Chivens 製 60cm 反射鏡が最近設置され、13mφ のミリ波望遠鏡建設がちょうど始まったことを紹介した。

この Informal meeting では、中国の建設計画の話は出なかったし、また Bappu さんは、Kavalur に建設中の 90 インチ 反射鏡の話はされなかった。すでに建設が始まったので、計画ではないということかもしれない。

そのほか、Scientific Organizing Committee では、アジア (東南アジア) に適当なサイズの望遠鏡を建設すべきこと、また、そのための site search を始めるべきことが討議され、Regional meeting としての resolution にしようかという話まで進んだが、けっきょくまとまらず、討論がわかれたという形に終わった。

INTERNATIONAL ASTRONOMICAL UNION
SECOND ASIAN-PACIFIC MEETING IN ASTRONOMY
BANDUNG, 24-29 AUGUST 1981

日本人参加者

氏名	職名	派遣機関
小暮智一	京大理 教授	学術会議
高瀬文志郎	東京天文台	文部省
北村正利	"	学術振興会
前原英夫	" 助手	"
稲垣省五	京大理	"

氏名	職名	派遣機関
赤羽 賢司	東京天文台 教授	私費
早坂 匡	秋田大 助手	"
細川 良正	山形大 名誉教授	"
市川 隆	京大理 大学院生	滞在中
市村 喜八郎	東京天文台 助手	私費
石田 五郎	" 助教授	"
石田 蕙一	" "	"
磯部 瑋三	" 助手	"
三上 隆	東大理 大学院生	"
水野 舜	金沢工大 助教授	金沢工業大学
岡崎 章	東大 大学院生	滞在中
佐藤 直宣	秋田大 教授	私費
富田 良雄	京大理 大学院生	"

以上 18 名.

インドネシアと日本との天文学交流について

小暮 智一

Bandungにおける Regional Meeting の期間中、インドネシアと日本との交流に関する informal meeting が 1 回開かれ、インドネシア、日本、韓国の有志 約 20 人が集まって討議した。

学術振興会とインドネシアの高等教育局(DGHE)を主な SPONSOR とするインドネシアと日本との交流は、「Spectroscopic and Photometric Study of the Galaxy」という main thema の下に 1979 年に始まり、毎年 3~4 名の研究者交換を続けてきた。3 年計画という予定で始まったこの交流は、今年で 3 年目を迎えたが学術振興会と DGHE との好意により、継続できる見通しが得られたので、どのような形で、どのような分野で継続すべきかを中心に informal meeting が行われた。

討議の結果 main thema はこれまでと同じとし、次の分野について flexible に交流を進めようということになった。

galactic structure
Variable stars
Interstellar matter
Stellar Dynamics

なお、Solar Physics については、別途交流促進をはかることと、また、韓国からも同じ main thema の下で交流をすすめたいという希望の表明があった。

この交流の世話人は、インドネシア側は B. Hidayat, W. Sutantyo, 日本側は、小暮智一、北村正利、高瀬文志郎、加藤正二、の各氏である。交流の内容に興味をお持ちの方は、1981年度用の年次報告と計画案がありますから、小暮までお申し出ください。

オ5回

光学・天文懇談会 開催通知

下記により懇談会を行いますので
出席いただくようお願い致します。

記

日時：10月19日(月) 午後 1.30 ~ 3.30
場所：東京大学理学部天文学教室

スピーカー

P. A. Strittmatter

Director of Steward Observatory

NNTT (National New Technical Telescope)
について他。

この度 東大百年記念国際協力研究の一環として、アメリカ・ソソンの Steward 天文台長、Peter Strittmatter さんから別故のゆえに日経で日本に滞在され、いわゆる NTT (New Technique Telescope) について議論されます。

日本の次代の大型望遠鏡を考える時、
氏と十分に接触しておく事は大切かと思えます。
日経がフマッていて大変ですが、できるかぎり
議論を、御協力のたいけなすと思っております。

(研究代議古在由秀)

連絡先 石坂部珠三

東大天文台：五ツ布大以 2-21-1
0422-32-5111 内 243

Dr. Strittmatter's Schedule in Japan

- Oct 11 Arrive at Osaka. Hotel Yayoi 06-373-1481
- Oct 12 Visit to National Institute of Industrial Test
Visit to Mitsubishi Co. Ltd who made 45m radio tel..
Hotel Heian 075-432-6181
- Oct 13 Attend to the Meeting of ASJ
Give a Talk with a Title "Astronomy and Large Optical
Telescopes in 1990's". Hotel Heian
- Oct 14 sight-seeing in Kyoto Hotel Heian
- Oct 15 informal discussion at ASJ Meeting.
go to the Okayama Astroph. Obs.
Observatory 086544-2157
- Oct 16 Observatory and sight-seeing in Kurashiki
Kurashiki Int. Hotel
0864-22-5141
- Oct 17 go to Tokyo
Hotel Daiwa 0423-24-5221
- Oct 18 go to Nobeyama (45m Radio Tel.) 3 hours by car
Japanese style hotel
- Oct 19 go to Tokyo 3 hours by car.
Give a Talk at the Meeting between Astronomers and
Engineers Hotel Yayoi 03-823-0841
- Oct 20 go to Tsukuba Academic Area. 2 hours by car
Discussion with those people. Hotel ????
- Oct 21 Visit to several Institute.
go to the Dodaira Station. 3 hours by car
Observatory 04936-7-0224
- Oct 22 go to Tokyo. Hotel Daiwa
- Oct 23 Give a talk at the Institute of Space and Astronautical
Science with a title "Relation of Large Telescope
Project and Space Project"
Give a talk at the Tokyo Astronomical Observatory
with a title "Speckle Interferometry"
Hotel Yayoi
- Oct 24 Departure from Narita.

○ 回覧板

・ 渡航

- ・ 稲垣省五 //月から/年間 イギリス・ケンブリッジ大
- ・ 佐藤修二 //月/2日から 23日間 中国 北京天文台興隆観測所

・ 異動

- ・ 斎藤衛 7月/1日から 京大理 宇宙物理に

・ 事務局

- 606 京都市左京区北白川
京都大学理学部宇宙物理学教室
光学天文連絡会 事務局 小暮 智一

郵便振替口座

- 口座番号 京都 17558
加入者名 光学天文連絡会